

_{LCD モニター} ユーザー ガイド

DesignVue デザイン モニター | PD シリーズ





Copyright © 2024 by BenQ Corporation. All rights reserved. 本書のいかなる部分も、BenQ Corporation の事前の書面による同意なく、電子的、機械的、磁気的、光学的、化学的、手動その他の手段を問わず、複製、転載、改変、検索システムへの保存、他言語またはコンピュータ言語への翻訳を行うことはできません。

免責

BenQ Corporation は、明示的または暗示的を問わず、本書の内容に関して、特に保証、 商業的可能性、特定目的への適合性に関しては、いかなる表明または保証もいたしま せん。また、BenQ Corporation は、お客様に改訂または修正の通知を行う義務を負う ことなく、本書を改訂したり、本書の内容を随時修正する権利を有します。

フリッカー フリーの性能は、ケーブルの品質、電源の安定度、信号への干渉の有無、 アースの品質等の外的要素をはじめ、さまざまな要素により影響を受けます。(フリッ カー フリー モデルのみが該当します。)

BenQ ecoFACTS

BenQ has been dedicated to the design and development of greener product as part of its aspiration to realize the ideal of the "Bringing Enjoyment 'N Quality to Life" corporate vision with the ultimate goal to achieve a low-carbon society.Besides meeting international regulatory requirement and standards pertaining to environmental management, BenQ has spared no efforts in pushing our initiatives further to incorporate life cycle design in the aspects of material selection, manufacturing, packaging, transportation, using and disposal of the products.BenQ ecoFACTS label lists key eco-friendly design highlights of each product, hoping to ensure that consumers make informed green choices at purchase.Check out BenQ's CSR Website at http://csr.BenQ.com/ for more details on BenQ's environmental commitments and achievements.



製品サポート

常に最新かつ正確な情報をお客様にお届けするために、内容が予告なく変更される場合があります。本書の最新版およびは、ホーム他の製品情報はホームページでご覧い ただけます。提供されるファイルは、モデル毎に異なります。

- コンピュータがインターネットに接続されていることを確認してください。
- 2. Support.BenQ.com からお住まい国のウェブサイトをご覧ください。ウェブサイトの レイアウトと内容は、地域 / 国によって異なります。
 - ユーザーマニュアルおよび関連ドキュメント
 - ドライバとアプリケーション
 - ・(EUのみ)解体について:ユーザーマニュアルのダウンロードページからご覧いただけます。本書は規定(EU)2019/2021に基づき本機を修理またはリサイクルするために提供されています。保証期間内の補修については、必ずお住まい地域のカスタマーサービスにお問合せください。保証外の製品の補修を希望される方は、互換性を確保するために専門のサービススタッフにお問合せになり、BenQからパーツを取り寄せるようお勧めします。お客様ご自身で解体する場合は、お客様ご自身の責任において行ってください。本機の解体に関する情報が見つからない場合は、お住まい地域のカスタマーサービスにお問合せください。

Q&A インデックス

知りたいトピックを選択してください。

セットアップ

モニターを設定して電源を入れるには?	
安全のために	6
モニターハードウェアの取り付け方法	18
モニターの高さを調整するには?	
モニターの高さ調節	25
モニターを壁に取り付けるには?	
モニター取り付けキットの使用方法(別売り)	28

メニューとアクセサリ

OSD メニューの使い方	
5 ウェイ コントローラと基本メニュー操作	30
メインメニューのナビゲート	41
頻繁に使う機能やメニューのホットキーを設定できますか?	
ホットキーのカスタマイズ	32

入力源とカラー設定

入力源を切り替えるには? PC ビデオケーブルを接続します。 20 42

信号入力

特定の状況に合った推奨されるカラー設定がありますか?	
適切なカラーモードの選択	34

カラーモード毎に使用可能なメニューオプションは? 各カラーモードで選択可能なメニューオプション 48

39

HDR コンテンツを見るには?

HDR テクノロジーを使う

効率を高める便利なツール

I組のキーボードとマウスで2台のコンピュータを操作するに

は?

2台のビデオソースで | 組のキーボードとマウスを共有する (CPU 切 34 替器)

複数のモニターを接続できますか?

MST(マルチストリーム転送)を使って複数のモニターを接続する 38

メンテナンスと製品サポート

モニターのお手入れ方法	
お手入れと清掃	9
モニターを長期間使用しないときの保管方法	
スタンドベースの取り外し	23
お手入れと清掃	9
続けてサポートが必要です。	
製品サポート	3
保守	9

安全のために

電源についての安全対策

モニターが最高の性能で動作するよう、また、モニターをできるだけ長くお使いいただくために、以下の安全上の注意点に従ってください。



- ・付属の電源コード以外のものは使用しないでください。
- ・付属した電源コードは本機以外の電気機器等では使用できません。
- ・機器の安全確保のため、機器のアースは確実に接続して使用してください。
- アースの接続は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。また、アースを外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。
- ・電源コードは必ず本製品に付属の物を使用してください、同梱した電源コードセットは本機以外の電気機器で使用できません。破損したり、磨耗したりしている電源コードは絶対にご使用にならないでください。
- (リモコンが付いている場合)指定された電池以外は使用しないでください。(液漏れ、発熱、破裂、発火の原因となります。)使用済みの電池は、自治体の指示に従って廃棄してください。
- モニターの故障の原因となりますので、電源供給が安定しない場所でのご使用はお 止めください。
- ・接地されたコンセントに電源コードを接続してからモニターの電源を入れてください。
- ・複数の差込口が付いた延長コードをご使用になる場合は、合計の電気負荷量にご注意ください。
- ・電源コードを外す前に必ずモニターの電源を切ってください。

アダプタ付きのモデル:

- 本 LCD モニターに付属の電源アダプタだけをご使用ください。別のタイプの電源ア ダプタをご使用になると、故障の原因となり大変危険です。
- ・機器を操作したり、バッテリーを充電したりするためにアダプタを使用するときには、十分な通気を確保してください。電源アダプタを紙やその他の物で覆わないでください。キャリーケースに入れたままで電源アダプタをご使用にならないでください。
- ・電気アダプタを適切な電源に接続します。

 ・電源アダプタをお客様ご自身で補修することはお止めください。内部に補修可能な パーツは含まれていません。故障したり、濡れたりした場合には、本体を交換して ください。

装着

- 次のような場所ではモニターをご使用にならないでください。
 - 気温が極度に高いまたは低い、あるいは直射日光が当たる場所
 - •ホコリが立ちやすい場所
 - ・湿度が高い場所、雨に濡れやすい場所、水場の近く
 - 自動車、バス、電車、その他の乗り物の中など、振動や衝撃を受けやすい場所
 - ・ラジエター、ヒーター、石油ストーブ、あるいは発熱源の近く(オーディオのアンプを 含みます)などの加熱装置の近く
 - ・適切な通気がない密閉された場所(クローゼットや本棚)
 - •不安定な場所、あるいは斜面
 - ・化学物質や煙のあたる場所
- ・モニターの持ち運びには十分注意してください。
- モニターの上に重いものを載せると、ケガやモニターの破損の原因となる場合があります。
- お子様がモニターにぶら下がったり、上ったりしないようにしてください。
- ・梱包材料はお子様の手の届かない場所に保管してください。

操作

- ・視力を保護するために、ユーザーガイドをお読みになり最適なスクリーン解像度と 表示距離に設定してください。
- ・目の疲労を縮減するために、モニターをご使用になるときには定期的に休憩を取ってください。
- ・長時間次のような行為はしないでください。焼けた痕が残る場合があります。
 - ・小さすぎてスクリーン全体に表示されない画像を再生します。
 - •スクリーンに静止画を配置します。
- モニターにキズが付きますので、モニターパネルに直接指で触れたり、ペンや先が 尖ったモノで触れたりしないでください。
- ビデオコネクタを頻繁に接続したり、取り外したりすることを繰り返すと、モニターの故障の原因となります。
- このモニターは主に個人使用を対象として設計されています。このモニターを公共の場や苛酷な環境でご使用になる場合は、お近くの BenQ サービスセンターへお問い合わせください。
- ・電気ショックの原因となりますので、お客様ご自身でモニターを解体したり、修理したりしないでください。
- ・モニターから異臭がしたり、異常なノイズが聞こえたりした場合は、直ちにお近くの BenQ サービスセンターへお問い合わせください。

注意

- モニターから 50~70 cm (20~28 インチ) 程度離れてください。
- ・長時間スクリーンを見つめたままでいると、眼精疲労を生じさせ視力が低下する場合があります。
 ト時間作業を行うごとに5~10分間目を休めてください。
- 遠くにある物を見つめることで、目の疲れを軽減できます。
- 頻繁に瞬きをしたり、目の体操をするとドライアイを防止することができます。

リモコンの安全に関するご注意(リモコンが付属している場合)

- リモコンを直接熱源や高湿度の場所に置いたり、火の中に投げ込んだりしないでく ださい。
- リモコンを落とさないでください。
- リモコンを水や液体に濡らさないでください。そうしなければ、故障の原因となります。
- ・リモコンと製品のリモート センサーの間に物を置かないでください。
- ・リモコンを長期間使用しない場合は、バッテリーを外してください。

バッテリーを安全にお使いいただくために(リモコンが 付属している場合)

間違ったタイプのバッテリーをご使用になると、化学物質が漏れ出したり、爆発した りする恐れがあります。次の点に注意してください。

- ・バッテリーは必ず極性に注意して、正しい方向に挿入してください。
- ・バッテリーは種類によって異なる特性を持っています。異なる種類のバッテリーを 混ぜて使用しないでください。
- ・古いバッテリーと新しいバッテリーを混ぜて使用しないでください。古いバッテリーと新しいバッテリーを混ぜて使用すると、バッテリーの寿命が短くなったり、
 古いバッテリーから液体が漏れ出したりする場合があります。
- ・バッテリーが破損している場合は、直ちに新しいものに交換してください。
- ・バッテリーから漏れ出した液体が肌に付着すると、皮膚に炎症を起こす場合があります。バッテリーから化学物質が漏れ出した場合は、すぐに乾いた布でふき取り、できるだけ早くバッテリーを交換してください。
- ・保管状況が異なるため、製品に挿入されているバッテリーの寿命が短くなっている 場合があります。最初の使用から3カ月以内、あるいはできるだけ早く交換してく ださい。
- ・古いバッテリーの処理、またはリサイクルについては、お住まい地域の規定に従ってください。お近くの行政機関、または廃棄物回収業者にお尋ねください。

付属のリモコンにボタン電池が入っている場合は、次の点にご注意ください。

- ・電池を飲み込まないようにご注意ください。化学物質により火傷をする危険性があります。
- 本機に付属するリモコンにはボタン電池が入っています。ボタン電池を飲み込んでしまった場合は、2時間で内臓が火傷をする危険性があり、死に至ることもあります。
- ・未使用、使用済みに関わらず電池はお子様の手の届かない場所に保管してください。
 バッテリーコンパートメントがしっかりと閉まっていない時には、製品のご使用を
 中止し、お子様の手の届かない場所に保管してください。
- ・電池を飲み込んでしまったと思われる場合、または体内に入り込んでしまったと思われる場合は、直ちに病院を受診してください。

お手入れと清掃

- ・床の上、または机の上に直接モニターを下向きに置かないでください。そうしなければ、パネル面にキズがつく恐れがあります。
- ・機器を操作する前に、建物構造にしっかりいと固定されていなければなりません。
- (壁および天井取り付けに対応するモデル)
 - ・モニターおよびモニター取り付けキットは、平らな壁面に取り付けてください。
 - ・壁の素材と標準の壁取り付けブラケット(別売り)がモニターの重量を支えるのに十分 な強度を備えているか確認してください。
 - ケーブルを LCD モニターから外すときには、まずモニターのスイッチと電源を切ってく ださい。
- ・清掃を行う前に、必ず壁のコンセントからモニターの電源コードをはずしてください。LCD モニターの表面を、けば立ちのない非研磨性の布でふきます。液体、エア ゾール、ガラスクリーナは使用しないでください。
- キャビネット背面または上面のスロットと開口部は換気用のものです。これらの部分をふさいだり、覆ったりしないようにしてください。モニターは、ラジエータまたは熱源の近くや上部に置かないでください。また、適切な換気が提供されている場所に設置してください。
- モニターの上に重いものを載せると、ケガやモニターの破損の原因となる場合があります。
- モニターの梱包材料は、将来搬送する必要があるときのために捨てずに保管しておいてください。
- ・電力定格、製造日、ID 表示については、製品ラベルをご覧ください。

保守

本製品の保守をご自身で行わないでください。カバーを開けたり取り外したりすると、高電圧部分やその他の危険な部分に触れるおそれがあります。上記の誤用、または落下や取り扱いミスなどその他の事故については、認定サービス担当者に連絡を取り、保守を依頼してください。

購入店にお問い合わせになるか、Support.BenQ.com からお住まいの国のウェブサイトをご覧ください。



保証内容

次のいずれかの状況では、モニターの保証は無効となりますのでご注意ください。

- ・保証に必要なドキュメントが許可されない使用により改ざんされた場合、または判読できない場合。
- ・製品に記載されているモデル番号または製品番号が改ざん、削除、はがされた、あるいは判読できない場合。
- ・許可されないサービス組織または人物により補修、変更、あるいは改変された場合。
- モニターを不適切な状態で保管したことに起因する破損(直射日光、水、火に当てた場合を含みますが、これらに限りません)。
- ・モニター以外の外部信号(アンテナ、ケーブル TV など)が原因で生じる受信問題。
- モニターの誤使用または濫用による故障。
- このモニターを対象販売エリア外でご使用になる場合は、ご使用になる前にモニ ターがその地域の技術規格に合っていることを確認してからご使用ください。そう しなければ製品が故障する場合があり、その場合の補修はお客様でご負担いただく ことになります。
- ・製品出荷時に提供されていないソフトウェア、パーツ、および本来同梱されていないアクセサリを使用した結果、問題(データの消失またはシステムの不具合)が生じた場合は、お客様ご自身の責任となります。
- ・電気ショックや火災などの危険性がありますので、アクセサリ類(電源ケーブルなど)は装置に付帯されていたものだけをご使用ください。

表記

アイコン / 記号	アイテム	意味
	警告	誤用や不適切な操作、または行いによって生じるコン ポーネントやデータへのダメージ、またはケガなどを 防止するための情報です。
()	ヒント	タスクを完了するための便利な情報です。
	注意	補足的情報です。

本書では、メニューを開くための手順は簡略化して記載されています。例: メニュー > システム > 情報。

O&A インデックス4 2 台のビデオソースで | 組のキーボードとマウスを共有する (CPU 切替器) 34

目次

システム メニュー	
トラブルシューティング	56
よくある質問 (FAQ)	56
それでも解決できないときは	59

はじめに

以下のものが揃っていることを確認してください。万一、不足しているものや破損し ているものがあった場合には、製品をお買い上げいただいた販売店まで直ちにご連絡 ください。



ビデオケーブル:DP-DP	
ビデオケーブル:USB-C™ USB-C™ ケーブルの長さは、接続のしやす さを考慮すると Iメートル以下でなければ なりません。	
USB ケーブル	
 アクセサリ類やここに示す画像は、実際の製品と 	は異なる場合があります。また、パッケージの内容

- ・アクセサリ類やここに示す画像は、実際の製品とは異なる場合があります。また、パッケージの内容 は将来予告なく変更される場合があります。この製品に付帯されていないケーブルは、個別に購入す ることができます。
 - モニターの梱包材料は、将来搬送する必要があるときのために捨てずに保管しておいてください。専用の発泡スチロールは、移動中にモニターを保護するのに適しています。
 - お住まい地域によって、アクセサリおよびケーブルが同梱されているか、別売りになるかが異なります。
 - ・製品とアクセサリ類は、小さいお子様の手の届かない場所に保管してください。

・製品によって付属または別売りになる場合があります。

モニターの外観

前面ビュー



背面ビュー



- I. スピーカー
- 2. 電源 LED インジケータ

- USB 3.2 Gen I ポート(ダウンス トリーム、USB デバイスに接続)
- 4. USB-C[™] ポート(データ転送専 用)
- 5. ヘッドフォンジャック
- 6. 電源ボタン
- 7. コントロールキー
- 8. USB 3.2 Gen I ポート x 2(ダウ ンストリーム、USB デバイスに 接続)
- 9. USB 3.2 Gen I ポート(アップス トリーム、PC に接続)
- 10. HDMI ソケット
- II. DisplayPort ソケット
- 12. USB-C[™] ポート(ビデオデータ 転送および最大給電 65 W)
- I3. DisplayPort 出力ソケット(MST 用)
- 14. Kensington ロックスロット
- 15. AC 電源入力ジャック

🔈・USB データ転送速度は 54 ページの「USB-C 構成」での選択により変わります。

・上記の例はモデルにより異なります。

・地域によって製品図が異なる場合があります。

接続

次の接続図は参照用です。この製品に付帯されていないケーブルは、個別に購入する ことができます。

接続方法についての詳細は、20-21ページをお読みください。



モニターの USB-C™ ポートのパワーデリバリー

パワーデリバリー機能を使用すると、モニターは接続した USB-C™ デバイスに電力を 供給することができます。電力量はポートにより異なります。デバイスが作動するの に十分な電力供給が受けられるように、適切なポートに接続されていることを確認し てください。

PD2	506Q
USB-C™ 65W (モニター背面)	USB-C™ (モニター左側)
5V / 3A	5V / 0.9A
9V / 3A	不可
12V / 3A	不可
I5V / 3A	不可
20V / 3.25A	不可

- ・接続したデバイスには、USB パワーデリバリーによる充電機能に対応した USB-C™ コネクタが搭載されていなければなりません。
- モニターが省エネモードのときにも、接続したデバイスに USB-C™ ポートから充電 することができます。(*)
- •USB のパワーデリバリーは最大で 65 W です。接続したデバイスが操作やブートアップに供給された電力以上を必要とする場合は(電池が切れているとき)、正規の電源 アダプタをお使いください。
- ・情報は標準の試験条件に基づき参照用として提供しております。ご使用環境に違いがあるため、互換性を保証するものではありません。別途購入した USB-C™ ケーブルをご使用になる場合は、USB-IF 認証の電力供給およびビデオ / オーディオ / データ転送機能が付いたケーブルであるかご確認ください。

*: **電源復帰**機能を有効にすると、モニターが省エネモード中に USB-C™ で充電することができます。 システム > **電源復帰**を開き、オンを選択します。

モニターハードウェアの取り付け方法



・次の画像は参照用です。出入カジャックの位置および有無は、購入されたモデルにより異なります。

📘 スクリーンの表面を指で強く押さないでください。

I. モニターベースを設置します。

物や突起物がない平らで安定した場所に、モニターの画面が傷つかないようにクッションとして柔らかい布などを敷き、モニターの画面を下向きにしておきます。物や突起物などがあると傷や破損の原因になります。

図に示す通り、モニターベースにモニタースタン ドを取り付けます。

図に示すとおり、モニターベースの底面にある蝶 ネジを締めてください。



モニターのお手入れは、モニターとスクリーンを 保護するために安定した平らな場所で行い、 ショック防止用にモニターの梱包袋などの柔らか い素材を置いてください。

スクリーンを下向きにして、ショック防止用の素 材を置いた平面な場所にゆっくりと寝かせてくだ さい。

しっかりと固定されるとカチッという音がします。 スタンドアームとモニターの向きを合わせて

(①)、カチッという音がしてロックされるまで押

し込んでください (2)。

ゆっくりと引き上げてみて、しっかりと設置され たことを確認します。

ゆっくりとモニターを持ち上げて、机の上に正面 を向くように設置します。

モニタースタンドの高さを調整したい場合がある かもしれません。詳細は、25ページの「モニター の高さ調節」を参照してください。









ご使用のモニターは、端から端までモニターとなりますので取り扱いには十分ご注意ください。スクリーンの表面を指で強く押さないでください。スクリーンの角度を調整するには、図に示すようにモニターの上部と下部に手を置いてください。ディスプレイを強く押さえないでください。



2. PC ビデオケーブルを接続します。

製品に同梱されているビデオケーブルと本書に示すソケットは、お住まい地域で販売される製品によって異なる場合があります。

- I. ビデオケーブルを接続します。
 - ・HDMI ケーブルのプラグを、モニターの HDMI ポートに接続します。
 - ・DP ケーブルのプラグをモニターのビデオソケットに接続します。
 - ・付属の USB-C™ ケーブルをモニターの USB-C™ ポートに接続します。



- もう片方のビデオケーブルをデジタル出力装置(コンピュータなど)のポートに接続します。
- 3. 使用中にプラグが外れないように、すべてのネジをしっかり締めてください。

(DP 入力のみ)モニターとコンピュータの電源を入れても画像が表示されない場合は、DP ケーブルを 外してください。先にモニターを DP 以外のビデオ ソースに接続します。モニターの OSD メニューか らシステム > 詳細設定 > DisplayPort を選択し、設定を I.4 から I.1 に変更します。設定が完了した ら、現在のビデオケーブルを一旦外し、DP ケーブルを接続します。OSD メニューを開く方法は、30 ページの「5 ウェイ コントローラと基本メニュー操作」をご覧ください。

3. ヘッドフォンを接続します。

ヘッドフォンジャックにはヘッドフォンを接続できます。



4. USB デバイスを接続します。

- USB ケーブルで PC とモニターを接続します(アップストリーム USB ポートを使用)。 このアップストリーム USB ポートは、PC とモニターに接続されている USB デバイス の間でデータを通信します。USB-C™入力から映像信号を取る場合は、このステップ は必要ありません。
- モニターの別の USB ポート(ダウンストリーム)を使って、USB デバイスを接続します。これらのダウンストリーム USB ポートは、USB デバイスとアップストリームポートの間でデータを通信します。
- CPU 切替器を使用する予定であれば、34 ページの「2 台のビデオソースで | 組のキー ボードとマウスを共有する(CPU 切替器)」をお読みになり正しく接続を行ってくだ さい。



び 左右の USB-C™ ポートはダウンストリームポートとして機能し、USB デバイスと接続します。 5. モニターに電源ケーブルを接続します。 モニターの背面の **~** と記載されたソケットに電

源コードをつなぎます。この時点では、まだコン セントにプラグを差し込まないでください。



6. ケーブルを整理する。

ケーブルをブラケットに通します。



- 7. 電源に接続し、電源をオンにします。 電源コードをコンセントに差し込んで、電源を入 れます。
- 🧭 地域によって製品図が異なる場合があります。

モニターの電源ボタンを押して、モニターをオン にします。

コンピュータもオンにします。

- 🕗 有効な入力アイコンは、モデル毎に異なります。
- 本製品を長くお使いいただくため、電源の操作はコン ピュータを使用して行ってください。





スタンドベースの取り外し

I. モニターと作業場所の準備をしてください。

電源ケーブルを外す前にモニターの電源を切ります。モニター信号ケーブルを外す前にコン ピュータの電源も切ります。

ベースを取り外す際モニターとスクリーンにキズ がつかないように、机の上の物を一旦別の場所に 移します。次にクッションとしてタオルなどの柔 らかい物の上にスクリーンを下向きに置きます。

物や突起物がない平らで安定した場所に、モニターの 画面が傷つかないようにクッションとして柔らかい布 などを敷き、モニターの画面を下向きにしておきま す。物や突起物などがあると傷や破損の原因になりま す。

2. モニタースタンドを外します。

クイック リリース ボタンを押したままにして、ス タンドをモニターから外します。

壁に取り付けるために、モニタースタンドが外してある場合は、28ページの「モニター取り付けキットの使用方法(別売り)」および壁取り付け用ブラケット (別売り)の取り扱い説明書をお読みください。

モニターのベースを外します。
 モニターベースの底部にある蝶ネジを弛めます。







スタンドからベースを外します。



モニターの高さ調節

モニターの高さを調整するには、モニターの左右 両側を持ち、モニターを下げたり、好きな高さに 引き上げたりします。





・高さ調整用スタンドの上部または下部、またはモニター の底面に手を添えると、モニターを上げ下げするときに ケガをする恐れがありますので、これらの位置に手を添 えないでください。この作業を行う場合は、お子様をモ ニターに近付けないでください。

・モニターがポートレート モードのときに高さ調整を行い たい場合は、ワイドスクリーンによりモニターを最低の 高さまで下げることはできませんのでご注意ください。



モニターの回転

I. ディスプレイを回転させます。

モニターを縦方向に回転させるには、まずディスプレイを 90 度回転させる必要があり ます。

デスクトップを右クリックして、ポップアップメニューから**画面の解像度**を選択しま す。**方向**で**ポートレート**を選択し、設定を適用します。

お客様の使用環境によって操作手順が異なります。詳細な手順等につきましてはご使用のパソコン本体のサポートセンターへご確認下さい。

2. モニターを最高の高さまで上げ、傾斜させ ます。

ディスプレイをゆっくりと持ち上げて、最高の高 さまで上げます。次にモニターを傾けます。

モニターを横置きモードから縦置きモードに回転できるように、モニターが縦方向に伸びるはずです。



3. 図に示す通り、モニターを右回りに 90 度 回転させます。





表示角度の調整

上下、左右、高さを調整して、モニターを見やすい角度に合わせてください。製品の 仕様については、ホームページをご覧ください。



モニター取り付けキットの使用方法(別売り)

LCD モニターの背面には 100 mm のパターンを持つ VESA 規格のマウントがあります。 これを使ってモニターを壁に設置することができます。モニター取り付けキットの取 り付けを始める前に、以下の注意事項をお読みください。

注意事項

- ・モニターおよびモニター取り付けキットは、平らな壁面に取り付けてください。
- ・壁の素材と標準の壁取り付けブラケット(別売り)がモニターの重量を支えるのに 十分な強度を備えているか確認してください。重量については、ホームページで仕 様書をご覧ください。
- ケーブルを LCD モニターから外すときには、まずモニターのスイッチと電源を切ってください。
- I. モニタースタンドを外します。

スクリーンを下向きにして、ショック防止用の素 材を置いた平面な場所に寝かせてください。23 ページの「スタンドベースの取り外し」に示す図 を参考に、モニタースタンドを外します。



プラスドライバを使って後ろカバーをモニターに 固定しているネジを外します。ネジを無くさない ように、磁石式のドライバをお使いになることを お勧めします。

将来モニタースタンドを使用する可能性がある場合は、 モニターベース、スタンド、ネジは保管しておいてく ださい。

購入された壁取り付けブラケットの説明書をお読みになり、モニターを正しく設置してください。

4 個の M4 x 10 mm ネジを使って、モニターを VESA 標準壁取り付けブラケットに取り付けます。すべてのネジがきつく、しっかりと締められているか確認してください。壁取り付けおよび安全のための注意については、専門の技術者、または BenQ サポートセンターにお問い合わせください。



モニターの調整

コントロール パネル

すべての OSD (On Screen Display) メニューには、コントロールキーでアクセスできます。モニターの設定はすべて OSD で行うことができます。



番号	名前	説明
١.	電源キー	電源をオン/オフします。
2.	5 ウェイ コント ローラ	画面にアイコンで表示されている機能やメニューアイテム にアクセスします。詳細は、30 ページの「5 ウェイ コン トローラと基本メニュー操作」を参照してください。
3.	カスタム キー	画面に表示されている機能やメニューアイテムにアクセス します。それぞれのキーの右側にあります。詳細は、32 ページの「ホットキーを使う」を参照してください。

5 ウェイコントローラと基本メニュー操作

5 ウェイ コントローラはモニターの背面にあります。モニターの前に座り、画面のア イコンが示す方向にコントローラを動かしてメニューをナビゲートしたり操作したり します。



OSD アイコン	5 ウェイ コン トローラの操作	機能
(メニューが有る	効でないとき)	
該当なし	5 ウェイ コント ローラを押す	 ・(ビデオケーブルを接続しない)映像信号選択メニューを有効にします。 ・(ビデオケーブルを接続する)ホットキーメニューを有効にします。
(映像信号選択)	メニューが有効にな	っているとき)
	5 ウェイ コント ローラを任意の 方向に動かす	選択したい入力信号に切り替えます。有効な入 カアイコンは、モデル毎に異なります。
(ホットキー メ	ニューが有効なとき)
	右に移動	メインメニューが有効になります。
	上に移動	輝度を調整します。
	下に移動	コントラストを調整します。
	左に移動	ホットキーメニューを終了します。
(メイン メニューが有効になっているとき)		
<ô>>	押す	選択肢を確定します。
<ô>	右に移動	・サブメニューが開きます。
~		・選択肢を確定します。
<Ô>	上に移動	・前のメニュー アイテムに戻ります。
Ť		 ・上 / 設定を上げます。

OSD アイコン	5 ウェイ コン トローラの操作	機能	
<ô>	下に移動	・次のメニュー アイテムに戻ります。	
Ť		• 下 / 設定を下げます。	
<ô>	左に移動	・前のメニューに戻ります。	
)×		・OSD を終了します。	

すべての OSD (On Screen Display) メニューには、コントロールキーでアクセスできま す。モニターの設定はすべて OSD で行うことができます。選択可能なメニューオプ ションは、入力ソース、機能、および設定により異なる場合があります。



- I. 5 ウェイ コントローラを押します。
- するとホットキーメニューが表示されます。上向きアイコンと下向きアイコンは 特定の機能用です。
- 3. 🗐 (メニュー)を選択してメインメニューを開きます。
- メインメニューでメニューの下のほうにあるオンスクリーン アイコンに従って、 調整または選択します。メニューオプションについての詳細は、41 ページの「メ インメニューのナビゲート」を参照してください。

ホットキーを使う

カスタムキー(5 ウェイ コントローラの横)は、あらかじめ定義しておいた機能に直 接アクセスできるホットキーとして機能します。これらのキーのデフォルト設定は別 の機能に変更することができます。

ホットキー機能にアクセスする

- I. モニター背面にあるカスタムキーのどれかを押します。
- 有効にしたい機能のキーを繰り返し押すとリストのオプションが順番に有効になります。



OSD アイコン	機能
	デフォルトではカラーモードオプションのリストに切り替わります。 デフォルト設定を変更するには、32 ページの「ホットキーのカスタ マイズ」を参照してください。
2	デフォルトでは 入力(信号入力)オプションの リストに切り替わり ます。
	デフォルト設定を変更するには、32 ページの「ホットキーのカスタ マイズ」を参照してください。

ホットキーのカスタマイズ

- I. 5 ウェイ コントローラを押すとホットキー メニューが開きます。
- 2. 🔳 (メニュー)を選択してメインメニューを開きます。
- 3. カスタムキーを選択します。
- 変更したいカスタムキーを選択します。カスタム キー I かカスタム キー 2 のいず れかです。
- 5. サブメニューでカテゴリーを選択します。

6. そのカテゴリー内で、このキーでクイックアクセスするアイテムを最高 3 個選択 します。

Mode: sRGB			KVM Swite	ch: ON
→¥← Display	Custom Key I 🖌 🎸	Color Mode	sRGB	
	Custom Key 2	Input	Display P3	
KVM Switch		KVM Switch	DCI-P3	
띠) Audio		Mute	Rec. 709	
A Custom Key	,)		HDR	\checkmark
乃 System			CAD / CAM	
			Animation	
			Low Blue Light	
			~	
Back () Move	<Õ• Edit		Please check 2 or	3 items

📭・OSD = オンスクリーン ディスプレイ。

- ホットキーはメインメニューが表示されていないときにしか使用できません。ホットキーはキーを何 も押さなければ数秒で消えます。
- •OSD コントロールをロック解除するには、キーをどれでも 10 秒間押し続けてください。

Display Pilot 2 でディスプレイを操作する

Display Pilot 2 ソフトウェアはディスプレイを操作するための代替ツールです。 Support.BenQ.com からダウンロードしてインストールしてください(3ページの「製品サポート」を参照してください)。

次のような主要機能があります:

- ・メイン機能のコントロール/モニターの構成設定です。
- モニターと共にディスプレイも回転させるように自動設定します(26ページを参照)。
- モニターの機能を拡張するための追加ツールです。

詳細は、Support.BenQ.com で Display Pilot 2 マニュアルをお読みください。

対応するオペレーティングシステムについては、BenQ ウェブサイトをご覧ください。

画面モードの調整

16:9 以外の縦横比、購入されたモデルのパネルサイズとは異なるサイズの画像を表示 するには、モニターで画面モードを調整します。

- 5 ウェイ コントローラを押してホットキーメニューを開き、
 してメインメニューを開きます。
- 2. 表示 > 画面モードを選択します。

3. 適切な画面モードを選択してください。変更した設定は直ちに反映されます。

適切なカラーモードの選択

このモニターには、さまざまな画像タイプに合ったカラーモードがいくつか用意され ています。カラーモードの種類については、44 ページの「カラーモード」をご覧くだ さい。

カラー設定 > カラーモードを開きカラーモードを選択します。

コンピュータのカラープロファイル(ICC プロファイル)は、必ずしもお使いのモニターに最適であ るとは限りません。忠実に色を再現するためには、コンピュータの ICC プロファイルを変更してコン ピュータとモニターが最高の状態で作動するようにしてください。手順については、 Support.BenQ.com を開き、お使いのモデルの ICC プロファイル インストールガイドをお読みくださ い。または、Display Pilot 2 (33 ページ)から ICCsync 機能を有効にしてください。詳細は、Display Pilot 2 のマニュアルを参照してください。

2 台のビデオソースで | 組のキーボードとマウスを共有 する (**CPU 切替器**)

2 台のコンピュータシステムをお持ちであれば、それぞれのディスプレイを操作する ために数台のキーボードとマウスを行ったり来たりするのは疲れるはずです。CPU 切 替機能と I 台のモニターに十分な数の I/O ポートがあれば、I つのキーボードとマウ スだけで作業を行えるようになります。接続が適切に確立されていれば、設定した入 カに切り替わり、同時にキーボードとマウスコントロールも切り替わります。

KVM 接続の確立

- 下に説明するとおり、またはモニター背面にある I/O ポート近くのラベルに示されているとおり、2 台のビデオソースに適切に接続してください。
 - •USB-C™ 接続
 - DisplayPort および USB (アップストリーム) 接続

I/O ポート近くのラベル



2. キーボードとマウスをモニターの USB ポートに接続します。次の図を参照してく ださい。



- CPU 切替器の第二ソースとして HDMI が使用されている場合は、ケーブルを接続した後で CPU 切替器 > USB > HDMI から手動で設定を変更する必要があります。MST はビデオが DP を介して入力している場合にのみ機能するため、MST および KVM を同時に使用することはできませんのでご注意ください。
- MST と KVM を同時に使用するには、37 ページの「シナリオ C:同時に KVM および MST と作動」を お読みください。
- 3. 接続が正しく確立されている場合は、自動的に CPU 切替器機能が有効になりま す。OSD メニューから状態を知ることができます。

		メインメニューに KVM の状態が 表示されます。		入力 ホットキーメニューには KVM アイコンが表示されます。
			KVM Switch: ON	Input KVM
E DisplayPort ✓	DisplayPort HDMI None		If KVM is not working please check: I. Cables are connected to both PC and monitor 2. Change Video Input selection in third column	USB-C DisplayPort HDMI

別のビデオソースに切り替える

KVM が正しく接続されると、デフォルトのホットキーを押して選択可能な KVM ソー スを簡単に切り替えることができます。KVM を切り替える方法は、ソースの接続に よって異なります。36 ページから素早く切り替えるためには、異なるシナリオにおけ る手順を参照することをお勧めします。

モニター背面にあるカスタムキー2で切り替える

デフォルトにより、カスタムキー2は入力(信号入力)に設定されています。CPU切 替器が有効になっている場合は、入力ホットキーメニューに KVM アイコンが表示さ れます。キーを繰り返し押して、選択したい選択肢が表示されるまでオプションを切 り替えます。



カスタムキー2が CPU 切替器に設定されている場合は、スイッチもお使いいただけます。2台のモニ ターとコンピュータがある場合は、36ページの「シナリオ B:2台のコンピュータと2台のモニター で作業をする場合」で説明してあるとおり CPU 切替器ホットキーを使って KVM ソースを切り替える 必要があります。

CPU 切替器メニューから切り替える

手動で CPU 切替器を選択してソースを選択します。

Mode: sRGB			KVM Switch: ON
→ Display □ Color □ KVM Switch □ Audio □ Audio □ Custom Key □ System	USB-C USB DisplayPort ✓	DisplayPort ✓ HDMI None	If it can't use KVM, please check I. Input Source is connected 2. Select the correct physical input source for USB
	<⊙́▶ Confirm		

シナリオA:2台のコンピュータと | 台のモニターで作業をする 場合



- 34 ページの「KVM 接続の確立」に説明してあるとおり、ケーブルを接続して KVM 機能を有効にします。
- 2. システム > 電源復帰を選択し、オンに設定されていることを確認してください。
- カスタムキー2(デフォルトで入力のホットキーになっています)を押します。または CPU 切替器メニューを開いて切り替えます。

シナリオ B:2 台のコンピュータと2 台のモニターで作業をする 場合



1. 34 ページの「KVM 接続の確立」に示すとおり、ケーブル接続を行います。

- 2. システム > 電源復帰を選択し、オンに設定されていることを確認してください。
- CPU 切替器 > USB を開き、なしを選択します。なぜなら、2 つの映像信号は同時 に表示されるためスイッチが不要だからです。なしオプションは USB コントロー ルのみ切り替えます。
- 4. カスタムキー(CPU 切替器のホットキーとして設定されている場合)を押しま す。または CPU 切替器メニューを開いて切り替えます。

シナリオ C:同時に KVM および MST と作動



DPに切り替え



入力 I:USB-C

入力 2: DP + USB アップストリーム

- コンピュータと2台のモニターを正しく接続し、38ページの「MST(マルチスト リーム転送)を使って複数のモニターを接続する」に説明するとおり MST を有効 にします。
- USB-C[™] および DP ソースを 34 ページの「KVM 接続の確立」に示すとおり、正し く第一モニターに接続してあることを確認します。
- 3. システム > 電源復帰を選択し、オンに設定されていることを確認してください。
- カスタムキー2(デフォルトで入力のホットキーになっています)を押します。または CPU 切替器メニューを開いて切り替えます。

MST 機能は、ビデオが DP を介して入力されている場合にのみ機能します。

MST(マルチストリーム転送)を使って複数のモニター を接続する

DP-IN ポートおよび DP-OUT ポートを使って接続すると、MST 機能を使ってコンテン ツを最大 4 台のモニターに出力することができます。



- ラップトップを USB-C™ / DP ケーブルを使ってモニターの USB-C™ / DP ポートに 接続します。質問されたら、はいを選択してモニターがスタンバイモードの時に USB-C™ 給電を行います。USB-C™ ポートからは、スタンバイモードのときにも ラップトップに給電されます。
- 2. システム > MST > オンを選択します。入力信号が検出されなければ、OSD メ ニューを起動したり、構成したりすることはできません。
- 3. 図を参考にして、DP ケーブルで 2 台目のモニターと最初のモニターを接続します。
- 4. 必要であれば、ステップ3に従って3台目のモニターと4台目のモニターを接続します。
- 5. ラップトップとモニターの電源を入れます。接続したすべてのモニターで、ステッ プ2で説明した構成を確認してください。
- 6. 接続したモニターにコンテンツをどのように表示したいかを、ラップトップで決定します。複製、拡張、プロジェクタのみ。ディスプレイを管理するためには、追加のソフトウェア(別売り)が必要となる場合があります。詳細は、購入されたソフトウェアのマニュアルをお読みください。

KVM 接続を維持したまま、同時に MST 機能を有効にするには、37 ページの「シナリオ C: 同時に KVM および MST と作動」をお読みください。

対応解像度

MST を実行するには、画質を保証するために一定数のモニターを接続する必要があり ます。各モニターの画像解像度については、次をご参照ください。

設定	第 I モニター (PD2506Q)	第 2 モニター (PD2506Q または互 換性のある BenQ モ ニター)	第 3 モニター (PD2506Q または互 換性のある BenQ モ ニター)	第 4 モニター (PD2506Q または互 換性のある BenQ モ ニター)
I	2560 x 1440 (60 Hz)	2560 x 1440 (60 Hz)	非表示	非表示
2	2560 x 1440 (60 Hz)	2560 × 1440 (60 Hz)	1920 x 1080 (60 Hz)	非表示
3	2560 x 1440 (60 Hz)	1920 x 1080 (60 Hz)	1920 x 1080 (60 Hz)	1920 x 1080 (60 Hz)
4	1920 x 1080 (60 Hz)	1920 x 1080 (60 Hz)	1920 x 1080 (60 Hz)	1920 x 1080 (60 Hz)



MST については、コンピュータのグラフィックカードが DP 1.4 に対応していることを確認してください。接続できるモニターの数は、グラフィックカードによって異なります。グラフィックカードの性能については、その仕様をご覧になるか、製造元にお問い合わせください。

HDR テクノロジーを使う

本書に記載する HDR 対応デバイスおよびコンテンツに関する情報は、開発段階における最新の情報で す。最新情報については、デバイスの製造元やコンテンツプロバイダーにお尋ねください。

HDR 機能を有効にするには、互換性のあるプレーヤーとコンテンツが必要です。

 FHD/4K HDR プレーヤーの準備ができているか確認してください。次の名前と解 像度のプレーヤーがサポートされています。FHD モニターでは 4K コンテンツは リサイズされ、I920 x 1080 で表示されます。

FHD/4K の通称	FHD、4K、4K Ultra HD、UHD、UHD 4K、Ultra HD、
(製造元ごとに異なります)	2160p
HDR10 で一般的に使用される	HDR Premium、High Dynamic Range、HDR、Ultra HD
名前	Premium
(製造元ごとに異なります)	

- 2. HDR コンテンツがあるか確認してください。
- 3. プレーヤーとモニターが適切なケーブルで接続されているか確認してください:
 - ・付属の HDMI / DP / DP mini DP ケーブル / USB-C™ ケーブル / Thunderbolt™ 3 (該当す る場合)
 - HDMI High Speed または HDMI Premium 認証の HDMI ケーブル
 - ・DisplayPort 認証の DP / DP mini DP ケーブル
 - DisplayPort 代替モード機能を備えた公式 USB-C™ ケーブル

HDR 機能を有効にする

39 ページの「HDR テクノロジーを使う」の指示に従い、入力コンテンツが HDR に 対応している場合は、OSD メッセージ HDR: オンが画面に表示されます。コンテンツ プレーヤーおよびコンテンツが HDR に対応しており、HDR 機能が有効になっている ことを意味しています。モニターは ST2084 規格に基づいて HDR コンテンツを処理し ます。

接続が完了し、OSD メッセージが何も表示されない場合は、コンテンツプレーヤー かコンテンツのいずれか、またはその両方が HDR 互換ではありません。モニターは 非 HDR コンテンツに対して最後に選択したカラーモードのままです。

メインメニューのナビゲート

モニターの設定はすべて OSD (On Screen Display) で行うことができます。5 ウェイ コ ントローラをどれでも押してホットキーメニューを開き、 (メニュー)を押してメ インメニューを開きます。詳細は、30 ページの「5 ウェイ コントローラと基本メ ニュー操作」を参照してください。

選択可能なメニューオプションは、入力ソース、機能、および設定により異なる場合 があります。使用できないメニュー オプションは、グレー表示されます。使用できな いキーは無効になり、それに相当する OSD アイコンも消えます。特定の機能が搭載 されていないモデルの場合は、それらに関連する設定とアイテムはメニューに表示さ れません。

OSD メニュー言語は購入された地域で提供される製品により異なる場合があります。詳細は、システムと OSD 設定の 53 ページの「言語」を参照してください。

各メニューについての詳細は、次のページを参照してください。

- ・42 ページの「表示メニュー」
- ・44 ページの「カラー設定メニュー」
- •49ページの「CPU 切替器メニュー」
- •50ページの「オーディオメニュー」
- •51 ページの「カスタム キーメニュー」
- •52ページの「システムメニュー」

表示メニュー

Mode: sRGB			KVM Switch: ON
🔆 Display	Signal Input 🗸	USB-C 🗸	
Color	Display Mode	DisplayPort	
	<	HDMI	
IQ) Audio			
A Custom Key			
万 System			
● Back	< > Confirm		

- I. ホットキー メニューから **回** (メニュー)を選択します。
- 2. (⁽⁾) または (⁽⁾) を使って**表示**を選択します。
- 3. <^Ô を選択してサブメニューを開き、^Ô または ^Ô を使ってメニューアイテ ムを選択します。
- 4. 〈 ② 〉 または 〈 ② 〉 を使って調整するか、 ④ 〉 を使って選択を行います。
- 5. 前のメニューに戻るには、⁽)を選択します。
- 6. メニューを終了するには、⁽◎) を選択します。

アイテム	機能	範囲
信号入力	ビデオケーブルの接続タイプに応じて入力を変更し てください。	• USB-C • DisplayPort • HDMI

アイテム		範囲	
画面モード	この機能 ませるこ	は 16:9 以外の縦横比の画像を幾何学的に歪 となく、正しく表示させます。	
	入力信 ます。	号によって、 画面モード の中のオプションが変わり	
	ひカラー プショ くださ	-モード で行った選択によって、異なる 画面モード オ ⊨ンが設定されます。設定は必要に応じて変更して ⊱い。	
	全画面	縦横比が 16:9 の画像に適しています。	
	1:1	入力画像はサイズを変更せずに、そのまま 最高解像度で表示されます。	

カラー設定メニュー

Mode: sRGB		KVM Switch: ON
		1
→‡← Display	Color Mode	50
Color 🔇	Brightness	Π
	Contrast	
띠) Audio	Sharpness	
A Custom Key	Color Temperature	
乃 System	Advanced	
▲ Back < ^Ô → Move	Confirm	

- I. ホットキー メニューから **回** (メニュー)を選択します。
- 2. 〈 ⁽) または ⁽) を使って**カラー設定**を選択します。
- 3. <^Ô を選択してサブメニューを開き、^Ô または ^Ô を使ってメニューアイテ ムを選択します。
- 4. 〈 ② 〉 または 〈 ② 〉 を使って調整するか、 ③ 〉 を使って選択を行います。
- 5. 前のメニューに戻るには、⁽)を選択します。
- 6. メニューを終了するには、⁽)を選択します。

アイテム		範囲	
カラーモード	画面に表示する 択します。	ら画像の種類に最もあったカラーモードを選	
	sRGB	プリンター、デジタルカメラなどの周辺機 器とのカラーマッチングを実現します。	
	Display P3	標準 Display P3 で優れたカラーマッチング を実現します。	
	DCI-P3	標準 DCI-P3 で優れたカラーマッチングを 実現します。	

アイテム		ţ	機能		
	Rec. 709	標準 Rec. 70 実現します。	9 で優れたカラーマッチングを		
	M-book	モニターと招 覚的差異を最			
	CAD/CAM	CAD / CAM コントラス			
	デザイン	暗いシャドロ ため、デザイ やすくなりる	0~10		
	ブルーライト 軽減	目にブルー に、ディス ます。	目にブルーライトがあまり当たらないよう に、ディスプレイのブルーライトを軽減し ます。		
			ライト軽減モードの値は、標準モード てブルーライトがどの程度軽減される ています。		
		マルチメ ディア	マルチメディア鑑賞用です。		
		ウェブサー フィン	インターネット サーフィン用 です。		
		オフィス	ビジネスまたはオフィス環境 用です。		
		閲覧	電子書籍やドキュメントの閲 覧用です。		
	ePaper	画面の輝度と ロの電子書籍 モードです。	と見やすい文字が特徴のモノク ^{審やドキュメントを読むための}		
	暗室	照明が暗いポストプロセッシング環境で画像を編集したり、表示したりするときに適しています。このモードは、シェードのシャープネスと鮮明さを向上させ、詳細をはっきりと表示します。			
	HDR	はつさりと表示します。 High Dynamic Range (HDR) テクノロジーで 最高のカラーマッチングを実現します。 WHDR コンテンツが検出された場合にのみ使用 できます。			

アイテム		機能	範囲
	DICOM	 DICOM 画像を見るときに使用します。医療用画像の表示にお勧めします。 DICOM は医療における Digital Imaging and Communications の略語であり、医療用画像の取り扱い、保管、印刷、および送信の規格です。 	
	ユーザー	ユーザー定義による画像設定の組み合わせ を適用します。	
輝度	明るいシェート	、と暗いシェードのバランスを調整します。	0から100
コントラスト	暗いエリアと明	引るいエリアの差を調整します。	0から100
シャープネス	被写体の鮮明さ	を調整します。	I から I0
色温度	6500K	ビデオや静止画を自然な色で表示させま す。これは工場出荷時の標準値になってい ます。	
	9300K	画像の色合いを寒色系にします。これはエ 場設定値を PC 業界標準の白にします。	
	5000K	画像の色合いを暖色系にします。これはエ 場設定値を新聞印刷標準の白にします。	
	ユーザー設定	赤、緑、青の原色を混ぜ合わせることに よって、画像の色合いを変更します。次に R(赤)、G(緑)、B(青)メニューに進 み、設定を変更します。 この値を下げると画像の各色が変わりま す。(たとえば、青のレベルを下げると、 黄色がかった色合いになります。緑のレベ ルを下げると、画像はマゼンタに近い色に なります。)	• R (0~100) • G (0~100) • B (0~100)
詳細設定	ガンマ	トーンの輝度を調整します。	• 1.8 • 2.0 • 2.2 • 2.4 • 2.6 • sRGB

アイテム		ż	幾能	範囲
	色域	Р3	標準 P3 で優れたカラーマッチ ングを実現します。	
		sRGB	sRGB 対応周辺機器に適してい ます。	
		Rec. 709	標準 Rec. 709 で優れたカラー マッチングを実現します。	
		ネイティブ	ネイティブ色域で優れたカ ラーマッチングを実現します。	
	色相	人間の目に助	央る色の濃淡を調整します。	 R (0~100) G (0~100) B (0~100) C (0~100)
				• M (0~100) • Y (0~100)
彩度 色の		色の純度を言	周整します。	 R (0~100) G (0~100) B (0~100) C (0~100) M (0~100) Y (0~100)
	ムラ補正機能	ディスプレイ なるように、 を補間します ひただし、ま は、この	イエリア全体の明るさが均一に ディスプレイエリアの明るさ け。 コントラストと輝度を高くしたい場合 機能をオフにしてください。	・オン ・オフ
	RGB 範囲	カラースケ- したデバイス オプション?	−ルの範囲を決定します。接続 Ϛの RGB 範囲の設定と一致する を選択してください。	・自動 ・全画面 ・限定
	バックライト 操作 (HDR のみ)	(HDR 互換の す) 有効にす するときに、 トが大きく 場合がありま この機能はい	O入力の場合にのみ使用できま すると、HDR コンテンツを再生 コンテンツと共にバックライ 変わる際にモニターがちらつく ます。これは正常な現象です。 いつでも無効にできます。	・オン ・オフ
	色のリセット	カスタム設筑 ます。	2色をデフォルト値に戻し	・はい ・いいえ

各カラーモードで選択可能なメニューオプション

設定したカラーモードに応じて、色調整のために選択できるオプションは変わります。 選択可能なオプションも入力毎に変わるため、このリストは参照用としてお使いくだ さい。使用できないメニュー オプションは、グレー表示されます。

・V: すべてのオプションを調整できます。
 ・不可: すべてのオプションは調整できません。

	設定							
カラーモー ド	輝度	コントラスト	シャープネス	色温度	ガンマ	色域	色相	彩度
DCI-P3	۷	非表示	V	非表示	非表示	非表示	非表示	非表示
Display P3	۷	非表示	V	非表示	非表示	非表示	非表示	非表示
HDR	۷	V	V	非表示	非表示	非表示	非表示	V
sRGB	۷	非表示	V	非表示	非表示	非表示	非表示	非表示
Rec. 709	۷	非表示	V	非表示	非表示	非表示	非表示	非表示
CAD/CAM	۷	V	V	非表示	V	非表示	非表示	非表示
デザイン	۷	非表示	V	非表示	非表示	非表示	非表示	非表示
ブルーライ ト軽減	V	V	V	非表示	非表示	非表示	非表示	非表示
ePaper	۷	V	V	非表示	非表示	非表示	非表示	非表示
暗室	۷	V	V	非表示	非表示	非表示	非表示	非表示
M-book	V	V	V	V	非表示	非表示	非表示	非表示
DICOM	۷	V	V	非表示	非表示	非表示	非表示	非表示
ユーザー	۷	V	V	V	V	V	V	۷

CPU 切替器メニュー

Mode: sRGB			KVM Switch: ON
Image: Color Image: Color Image: KVM Switch Image: KVM Switch	USB-C USB DisplayPort ✓	DisplayPort ✓ HDMI None	If it can't use KVM, please check I. Input Source is connected 2. Select the correct physical input source for USB
(↓ ⊕)> Back < ⊕)> Move	Confirm		

- I. ホットキー メニューから **回** (メニュー)を選択します。
- 2. (⁽⁾) または (⁽⁾) を使って **CPU 切替器**を選択します。
- 3. <^Ô を選択してサブメニューを開き、^Ô または ^Ô を使ってメニューアイテムを選択します。
- 4. 〈 ② 〉 または 〈 ② 〉 を使って調整するか、 ③ 〉 を使って選択を行います。
- 5. 前のメニューに戻るには、⁽)を選択します。
- 6. メニューを終了するには、^(◎)を選択します。

アイテム	機能	範囲
USB-C	USB-C™ ポートに接続した入力ソース / ディスプレ イを操作するキーボードとマウスを切り替えます。	
USB I	USB アップストリーム ポートに接続した入力ソー	• DisplayPort
USB 2	ス/ ティスフレイを採作するキーホードとマウスを 切り替えます。この USB アップストリームポート が使用可能な映像信号は接続により異なります。 34 ページの「2 台のビデオソースで 組のキー ボードとマウスを共有する (CPU 切替器)」を参照 してください。	・HDMI ・なし

オーディオメニュー

Mode: sRGB		KVM Switch: ON
→‡← Display	Volume	30
Color	Mute	n
III) Audio 🔨)	
A Custom Key		
ア System		
() ■ Back < () Move	< Confirm	

- I. ホットキー メニューから **回** (メニュー)を選択します。
- 2. 〈 ⁽) または ⁽ ⁽)</sup> を使って**オーディオ**を選択します。
- 3. <^Ô を選択してサブメニューを開き、^Ô または ^Ô を使ってメニューアイテムを選択します。
- 4. 〈 ② 〉 または 〈 ② 〉 を使って調整するか、 ④ 〉 を使って選択を行います。
- 5. 前のメニューに戻るには、⁽)を選択します。
- 6. メニューを終了するには、⁽)を選択します。

アイテム	機能	範囲
音量調整	音量を調整します。	0~100
ミュート	オーディオ入力を無音にします	・オン ・オフ

カスタム キーメニュー

Mode: sRGB			KVM Swite	ch: ON
→‡← Display	Custom Key I	Color Mode	sRGB	
Color	Custom Key 2	Input	Display P3	\checkmark
KVM Switch		KVM Switch	DCI-P3	
II[)) Audio		Mute	Rec. 709	
A Custom Key) \		HDR	\checkmark
」 G System			CAD / CAM	
			Animation	
			Low Blue Light	
			~	
) Back () Move	<⊙• Edit		Please check 2 or	3 items

- ホットキーメニューから
 (メニュー)を選択します。
- 2. (⁽⁾) または (⁽⁾) を使って**カスタム キー**を選択します。
- 3. (◎) を選択してサブメニューを開き、(◎) または (◎) を使ってメニューアイテムを選択します。
- 4. 〈 ② 〉 または 〈 ② 〉 を使って調整するか、 ④ 〉 を使って選択を行います。
- 5. 前のメニューに戻るには、⁽)を選択します。
- 6. メニューを終了するには、⁽◎) を選択します。

アイテム	機能	範囲
カスタム キーI	カスタムキー I でアクセスできる機能を設定し ます。先にカテゴリーを選択してから、この キーでアクセスできるオプションを最大で 3 個 まで選択します。	・カラーモード ・信号入力 ・CPU 切替器
カスタム キー 2	カスタムキー2でアクセスできる機能を設定し ます。先にカテゴリーを選択してから、この キーでアクセスできるオプションを最大で3個 まで選択します。	·ミュート

システムメニュー

Mode: sRGB	Mode: sRGB KVM Switch: ON				
]		
→‡ ← Display	OSD Settings	Language	5 Sec.		
Color	USB-C Configuration	Display Time	10 Sec.		
	Power Awake	OSD Lock	15 Sec. 🗸		
ID) Audio	MST	Resolution Notice	20 Sec.		
A Custom Key	Advanced		25 Sec.		
🔁 System 🗸	System Setting		30 Sec.		
	Burn-in Cleaner				
	Information				
	~				
(€) • Back (€) • Move	رُفَ Back کُو Move کُو Confirm				

- I. ホットキー メニューから 🔳 (メニュー)を選択します。
- 2. (⁽⁾) または (⁽⁾) を使って**システム**を選択します。
- 3. <Ô を選択してサブメニューを開き、Ô または ◇ を使ってメニューアイテムを選択します。
- 4. 〈 ② 〉 または 〈 ② 〉 を使って調整するか、 ④ 〉 を使って選択を行います。
- 5. 前のメニューに戻るには、⁽)を選択します。
- 6. メニューを終了するには、⁽◎) を選択します。

アイテム		機能	範囲
OSD 設定	言語	OSD メニューの言語を選択し ます。	 English Français Deutsch Italiano Español Español Polski Česky Magyar Română Nederlands Pycский Svenska Português ألعربية 包本語 한국어 繁體中文 简体中文
	表示時間 OSD ロック	OSD メニューの表示時間を調 整します。 モニター設定が誤って変更され	・5 秒 ・10 秒 ・15 秒 ・20 秒 ・25 秒 ・30 秒
		るのを防止します。この機能が 有効になっている間は、OSD コントロールとホットキーはす べて無効になります。 ♥ OSD コントロールをロック解除 するには、キーをどれでも 10秒 間押し続けてください。	
	解像度につい ての注意	モニターが新しい入力ソースを 検出したときに、推奨する解像 度を表示するかどうかを設定し ます。	・オン ・オフ

アイテム		機能	範囲
USB-C 構成	USB-C™ ポート シュレートを設 USB-C™ テクノ わります。	を介して入力ビデオのリフレッ 定します。USB 転送速度は、 ロジーの制限によりその都度変	
	USB 3.2 Gen I	リフレッシュレート:2560 x I440 @ 60 Hz USB 転送速度:5 Gbps	
	USB 2.0	リフレッシュレート:2560 x I440 @ 60 Hz USB 転送速度:480 Mbps	
電源復帰	デフォルトでは おり、スタンバ 源は供給されま モニターがスタ 電源を供給し続 さい。	、この機能は無効に設定されて イモード中は USB ポートへの電 せん。 ンバイモード中も USB ポートに けるには、 オン に設定してくだ	・オン ・オフ
MST	複数のモニター る状態でデータ	をデイジーチェーン接続してい を転送できます。	・オン ・オフ
詳細設定	DDC/CI	PC のソフトウェアからモニ ター設定を行うことができま す。 Video Electronics Standards Association (VESA) により開発された DDC/CI (Display Data Channel/Command Interface の略) は、既存の DDC 規格を拡張し たものです。DDC/CI 機能はソ フトウェアを使ってモニターコ ントロールからリモート診断を 送信することができます。	・オン ・オフ
	自動電源オフ	省電力モードで、モニターが自 動的にオフになるまでの時間を 設定します。	・オフ ・10 分 ・20 分 ・30 分
	DisplayPort	データ転送用の適切な DP 規格 を選択してください。	•1.1 •1.4
	OSD キーの明 度	電源キーの LED ライトの明る さを調整します。	・オン ・オフ

アイテム		機能	範囲
	AMA	LCD パネルのグレーレベルの 応答時間を短縮化します。	・オフ ・高 ・プレミアム
システム設定	モニターのプロ	パティ設定を表示します。	 ・入力 ・タイミング ・輝度 ・コントラスト ・色域 ・ピクセル暗号化 ・RGB 範囲
残像クリーナー	静止画を長時間 クリーンの焼け があります。この かのデフォルト や影がスクリー ができます。 この機能を無 れでも押して	表示したままにしておくと、ス 付き、または残像が生じる場合 の機能を有効にすると、いくつ のパターンを表示することで線 ンに現れる現象を軽減すること 効にするには、コントロールキーをど ください。 焼け付きはパネルの特性によるもので 生じ得るものとご理解ください。スク 付きを防止するために、初めてお使い は静止画を長時間表示し続けないでく ニュータの電力管理機能を使用します。	・はい ・いいえ
情報	製品情報を表示	します。	・モデル名 ・バージョン ・使用時間
すべて元に戻す	すべてのモード 時のデフォルト	、色、その他の設定を工場出荷 値に戻します。	・はい ・いいえ

トラブルシューティング

よくある質問 (FAQ)

イメージング

- 🌙 画像がぼやける。
- ウェブサイトから Resolution file (解像度ファイル)をダウンロードします (3 ページの「製品サポート」を参照してください)。「スクリーン解像度の調整」を参照してください。その後、最適な解像度とリフレッシュ レートを選択し、ステップに従って調整してください。
- ?) ネイティブ(最大)解像度より低い解像度でのみぼやけが発生する場合:
- ウェブサイトから Resolution file (解像度ファイル)をダウンロードします (3 ペー ジの「製品サポート」を参照してください)。「スクリーン解像度の調整」を参照して ください。ネイティブ解像度を選択します。

一部のピクセルが常時点灯したまま、または点灯しないままであったり、赤、緑、 青、その他の色になったままの場合

- 🏊・LCD スクリーンをきれいに掃除してください。
 - ・電源のオン/オフを切り替え。
 - モニターの動作中に常時点滅する画素が少々存在することがありますが、これは液 晶技術で一般的に発生する状況で、故障ではありません。
- 🕐) 画像が不自然な色で表示される。
- 🔈 画像が黄、青、または薄いピンク色で表示される場合。
- カラー設定、詳細設定、色のリセットを選択した後、はいを選択して色を初期値に戻します。

それでもイメージが正しく表示されず、OSD が不自然な色で表示されている場合は、 3 つの基本色のうちいずれかの信号入力が行われていません。信号ケーブルのコネク タをチェックしてください。ピンが曲がったり破損している場合は、販売店にご相談 ください。

- 🕐 画像がゆがむ、フラッシュする、ちらつく。
- ・ウェブサイトから Resolution file (解像度ファイル)をダウンロードします (3
 ページの「製品サポート」を参照してください)。「スクリーン解像度の調整」を参照してください。その後、最適な解像度とリフレッシュ レートを選択し、ステップに従って調整してください。
 - ・HDR コンテンツを再生していて映像がちらつく場合は、バックライト操作をカラー
 設定 > 詳細設定から無効にしてみてください。詳細は、47 ページの「バックライト 操作」を参照してください。

- ?) モニターは最高解像度に設定されていますが、画像はまだ歪んでいます:
- 又なる入力ソースの画像は、モニターの最高解像度で表示すると歪んだり、引き伸ば されたりする場合があります。それぞれの入力信号を最高の状態で表示するには、画 面モード機能を使って入力信号に合った適切な縦横比を設定してください。詳細は、 43 ページの「画面モード」を参照してください。
- 🕐) 画像が片側に寄ってしまう。
- ウェブサイトから Resolution file (解像度ファイル)をダウンロードします (3 ページの「製品サポート」を参照してください)。「スクリーン解像度の調整」を参照してください。その後、最適な解像度とリフレッシュレートを選択し、ステップに従って調整してください。
- 🕐) スクリーン上に表示される静止画像に薄い影が写ることがあります。
- ✓・省電力機能を有効にして、コンピュータとモニターを一定時間使用しない状態が続いた場合、低消費電力の「スリープ」モードに入るようにしてください。
 - ・画像の残像が残らないようにスクリーンセーバをお使いください。

電源 LED インジケータ

- ?)LED は白かオレンジ色です。
 - ▶・LED が白く点灯しているときには、モニターの電源が入っています。
 - ・LED が白く点灯し、画面に「範囲外です」というメッセージが表示されている場合 は、モニターがサポートしていない画面モードを使用しています。モニターがサ ポートするモードのいずれかに設定を変更してください。ウェブサイトから Resolution file (解像度ファイル)をダウンロードします (3 ページの「製品サ ポート」を参照してください)。「スクリーン解像度の調整」を参照してください。 その後、最適な解像度とリフレッシュ レートを選択し、ステップに従って調整して ください。
 - •LED がオレンジ色に点灯している場合は、省電力モードが有効になっています。コンピュータのキーボードで任意のキーを押すか、マウスを動かしてください。それでも解決しない場合は、信号ケーブルのコネクタをチェックしてください。ピンが曲がったり破損している場合は、販売店にご相談ください。
 - LED がオフであれば、電源のメイン ソケット、外部電源、メイン スイッチを チェックしてください。

OSD コントロール

- 🕐 OSD コントロールにアクセスできません。
- ✔ ロックされた状態にプリセットされている OSD コントロールをロック解除するには、 キーをどれでも 10 秒間押し続けてください。

OSD メッセージ

- コンピュータがブートアップする間、「範囲外です」というメッセージが表示される。
- ▼ コンピュータがブートアップする間、「範囲外です」というメッセージが表示される 場合は、オペレーティングシステムまたはグラフィックカードがコンピュータと互 換性の問題があることを意味しています。システムが自動的にリフレッシュレート を調整します。オペレーティングシステムが起動するまでお待ちください。

オーディオ

(?) 外付けスピーカーから音が出ない。

- ・ヘッドフォンを外してください(モニターにヘッドフォンが接続されている場合)。
 - ・ヘッドフォンジャックが正しく接続されていることを確認してください。
 - •外付けスピーカーが USB デバイスである場合は、正しく接続されていることを確認 してください。
 - ・外付けスピーカーの音量を上げてください(音量が無音になっているか、低すぎる 場合があります)。

CPU 切替器

- 🕐 KVM ソースに切り替えた後、反応がありません。
 - ▲ケーブルの接続状況とメニュー設定を次の順番で確認してください。
 - ・ケーブルが正しく接続されており、CPU 切替器機能が有効になっていることを確認してください。詳細は、34ページの「KVM 接続の確立」を参照してください。
 - モニターには電源を切る前の KVM ペアリング設定が保存されますので、変更した 場合はすぐにはケーブル接続が認識されない場合があります。KVM ソースに対して 正しい入力源が選択されているかどうかを確認するには、切り替えようとしている KVM ソースに応じて、CPU 切替器 > USB をご覧ください。
 - ・CPU 切替器のホットキーがなく、切り替えようとしている KVM ソースのコン ピュータがスリープモードになっている場合は、入力を休止中のコンピュータに切り替えて、キーボードまたはマウスを再度手動で休止中のコンピュータに接続し直 してください。(Windows のみ)これが機能しない場合は、電源ボタンを押してコ ンピュータを復帰させてみてください。

- 入力が他のソースに切り替わっています。しかし、画像またはカーソルが表示されません。
- ・シナリオA:2台のコンピュータとI台のモニターで作業をする場合を選択する場
- 合は、なしが CPU 切替器 > USB から選択されていることを確認してください。選択されている場合は、2 つ目のソースがないため何も表示されません。キーボードとマウスコントロールは他に切り替えられているため、現在のディスプレイを操作することはできません。このような場合は、表示 > 信号入力から手動でビデオ入力を選択してください。
 - 37 ページの「シナリオ C:同時に KVM および MST と作動」に説明するとおり、
 KVM と MST を同時に使用する場合は、第一モニターのビデオソースが USB-C™ と DP であることを確認してください。ケーブルが正しく接続されている場合は、
 CPU 切替器 > USB を選択して DisplayPort に設定されていることを確認してください。

USB-C™ 接続(USB-C™ ポート搭載モデル)

2) USB-C™ 接続ではラップトップから音声も画像も出力されません。

ケーブルの接続状況とメニュー設定を次の順番で確認してください。

- USB-C™ ケーブルがモニターとラップトップに正しく接続されているか確認してください。詳細は、20ページの「PC ビデオケーブルを接続します。」を参照してください。
- ・入力映像が表示 > 信号入力で USB-C に選択されていることを確認してください。

それでも解決できないときは

このガイドの指示に従って調整を行っても問題が解決しない場合には、お買い上げいただいた販売店にご連絡いただくか、support@benq.jp まで電子メールにてお問い合わせください。